

2021年9月1日(水)
株式会社明電舎

産業用コントローラ μPIBOC- I MODEL1200 の販売を開始しました

株式会社明電舎（取締役社長 三井田健/東京都品川区 以下、明電舎）は、2021年7月より、産業用コントローラμPIBOC- I シリーズの最新モデル『μPIBOC- I MODEL1200』をリリースしました。

24時間連続稼働が求められる信頼性の高いコントローラとして、μPIBOC- I シリーズは、2002年から販売を開始。その後、半導体製造装置を中心とした用途に累計3万台以上を納入してきました。シリーズ販売当時から、従来モデルとの形状・インタフェース互換のコンセプトを持ち、MODEL1200においても継承しております。

第7世代 Intel プロセッサ搭載による性能向上と RAS^(※1)の新機能追加により、これまで以上に高い信頼性を実現しております。

Type はストレージタイプにより4種類(TypeC, TypeH, TypeH2, TypeM)あり、第7世代 Intel プロセッサを搭載し、演算速度により Xeon/Core i3 プロセッサ^(※2)のいずれかの選択が可能です。



TypeC
(ドライブレス)



TypeH
(1ドライブ)



TypeH2
(2ドライブ)



TypeM
(ミラードライブ RAID1)

〈製品特長〉

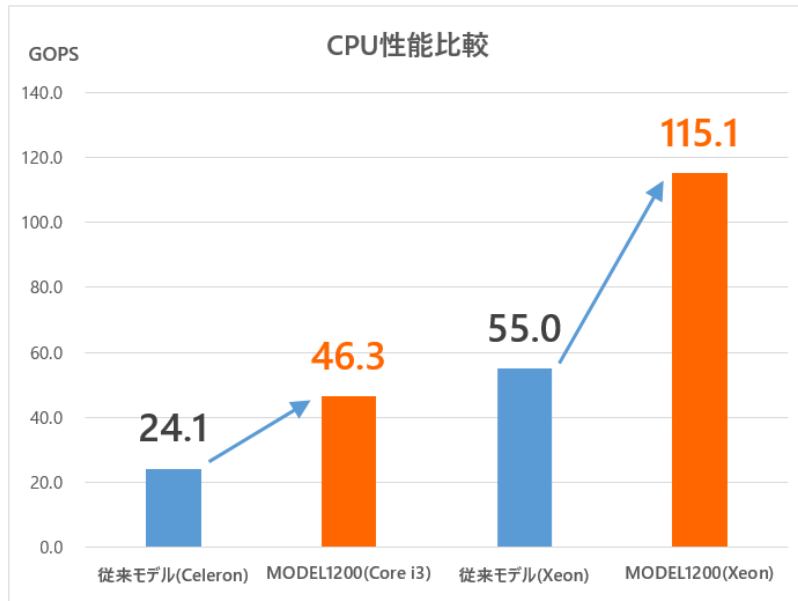
1. イージーメンテナンス

- ・従来モデルと形状互換、インタフェース互換。お客様はコントローラ更新時のレイアウト変更が不要です。
- ・有寿命部品(SSD, CFAST, SD)を前面に配置しているため、お客様装置に組み込んだ状態で交換が可能です。

TypeM(ミラードライブモデル)ではホットスワップに対応。お客様装置に組み込んだ状態で電源を落とさずに SSD の交換ができ、24時間365日稼働が可能です。

2. 性能向上

- ・演算速度が従来モデルに比べ、約 200%に性能向上。
お客様装置のスループット向上に寄与します。



GOPS(Giga Operaitons Per Second) 1秒間にCPUが演算する回数 1GOPs=10億回/秒

3. 高信頼性

- ・標準搭載している当社 RAS 機能により、システムの長期安定稼働をサポートします。
- ・従来の異常検出項目に加え、新たに SSD・CFast の余寿命監視機能を追加。全 11 項目の異常検出をおこない、計画的なメンテナンスが実施できます。

〈供給期間〉

販売開始から、2028 年 11 月まで供給いたします。

(OS は、Windows10 IoT Enterprise LTSC 2019^(※3)を搭載します。)

〈製品環境アセスメント〉

独自の製品環境アセスメント基準を満たし、環境に配慮しています。

明電舎は今後も半導体製造装置用コンポーネントの提供を通し、社会のデジタル化による豊かな未来創りに貢献してまいります。

※1 RAS(Reliability, Availability and Serviceability の略称)

システムが期待された機能・性能を安定して発揮できるように監視するソフトウェア

※2 Xeon、Core i3、Celeron は、Intel Corporation の登録商標です。

※3 Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

■μPIBOC- I MODEL1200 紹介ページはこちら

https://www.meidensha.co.jp/products/industry/prod_04/prod_04_04/prod_04_04_07